



学校だより

# おつひ

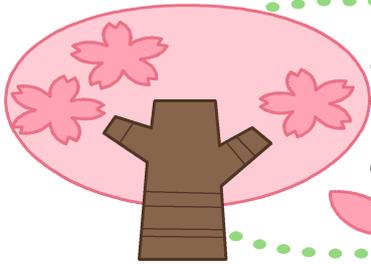
半田市立乙川東小学校

第1号

令和7年4月9日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



乙東っ子482名でスタート！  
どうぞよろしくお願いします。

入学式では、6年生のエスコートで、1年生87名が元気に入場し、体育館にも87の色とりどりの花が咲きました。そして、乙東っ子の「あ：あいさつ い：いのち う：うんどう え：えがお お：おもいやり」の話を最後までしっかり聞く顔は、もうすっかり小学生。これから始まる学校生活の中で、さらにたくさんの花を咲かせてくれることでしょう。

さて、始業式で、今年は乙東っ子の「い：いのち」を目標にします、と話しました。「いのち」は大切なもので、かけがえのないものであることは、誰もがわかっていることです。では、実際「いのちを大切にすると、いのちを輝かせる」とは、どうすることなのでしょう。一人一人が、自分の生活の中で、「いのち」について考える機会をつくっていきたいと思います。

その第一歩として、病気のため11歳で亡くなった女の子が書いた詩を紹介しました。

命

宮越 由貴奈

命はとても大切だ  
人間が生きるための電池みたいだ  
でも電池はいつか切れる  
命もいつかはなくなる  
電池はすぐにとりかえられるけど  
命はそう簡単にはとりかえられない  
何年も何年も  
月日がたつてやつと  
神さまから与えられるものだ  
命がないと人間は生きられない  
でも

「命なんかいらぬい。」  
と言って

命をむだにする人もいる  
まだたくさん命がつかえるのに  
そんな人を見ると悲しくなる  
命は休むことなく働いているのに  
だから 私は命が疲れたと言うまで  
せいっぱい生きよう

「電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ」

角川文庫  
より

学校だより「おつひ」はHPにも掲載しています。ご活用ください。

乙川東小学校HP <https://www.okkawahigashi-e.ed.jp/>